

## 熱気の中での裸婦デッサン会

東支部 阿部 勉

今年の裸婦デッサン会は、参議院選挙の関係上、予定より1週間開催を早めて、7月13日・14日の2日間、石神コミセンで実施いたしました。

梅雨が早く明けたので急に暑くなり、モデルさんへの寒さ対策の心配がなくなりました。広い体育館は連日40人近い参加者で、描く場所さがして苦勞するほどの賑わいとなりました。

裸婦デッサンは人物画の基本であり、この催しの意義が、広く理解されたものと改めて思いました。秋に向かって各種美術展がありますので、皆様の力

作を期待しております。

ご協力ありがとうございました。



ゲストの方も汗をふきながら奮闘中！

## 合評会に出席して

理事長 高橋 忠治

猛暑の夏が続いております。こんな日々には室内で絵を描くのが一番ですね。会員の皆様には芸術の秋の準備に余念のないことと存じます。

先日の合評会は点数が少なかったのですが、それぞれの持ち味を生かし、個性的な作品と見て取れました。大事なことはどんなモチーフの絵であっても、鑑賞者を感動させる内容が重要です。市展、県展、中央展などの、審査のある展覧会では審査時間が3,4秒で決まってしまう。この事から、感性に直接訴える内容にしたいものですし、処理の仕方も重要です。

例えば明暗の巾を大きくとれば、インパクトの強い絵になるし、諧調をたくさんつくれるので内容が豊かになります。また絵の内容によって、明るい面積と暗い面積の比率をどうするかも重要です。明る



真剣な意見が交わされました。

い面積が多いと絵が軽く見えますし、暗い面積が多いと鈍重な絵に見えます。その他・モチーフの扱いが新鮮であること・写実であれば物の質感が表現されていること・類似作品でないこと・マチエール造りが的確であることなどが、佳い作品につながると思います。







南支部

川崎敏子さんに

Tea タイム

Q 絵を描くようになったのはいつですか？きっかけは？

A 二十歳の頃に職場で絵に誘われ、2年ぐらい教えていただきました。その後、四十歳の時に、照沼恵子さんに誘われ、忘れていた絵を再開し、色々お世話になりながら現在まで続いています。

Q これから描いてみたいものは、どのような絵ですか？

A ホットできて、身近に飾れる小さな絵です。

Q 絵にまつわる失敗談などがありましたら、教えてください。

A 展覧会の制作が間に合わず、義父が寝ている部屋の隣で夜中まで制作したことがあります。翌朝、義父から「昨夜はだいぶ風が強く吹いたね」とまじめな顔で言われてしまいました。キャンバスと筆のぶつかりが風音に聞こえたようです。

Q 絵を描く以外に好きなこととか、やっていることを教えてください。

A 退職してから、長年の夢だった洋裁を習いに行き、ほとんどの時間ミシンの前にいます。絵は悩みながら、でも、洋裁は教え通りにすれば作品になり楽しいです。

Q 絵を描いて良かったなあーと思うことは？

A 多くの方との出会いがあったことをこれからも大切にしたいです。絵を見ていただき、親しくなったご近所の方のご好意で、車庫を私達の夫婦だけのギャラリーにしています。

Q 近々展覧会がありましたらお知らせください。

A 創造茨城支部展が10月27日から11月2日まで東海ステーションギャラリーで開催されます。どうぞ皆様おでかけください。

車庫のギャラリーと今年久しぶり東海音頭を踊る川崎さん



## 夏休みこども作品教室に参加して

仲支部 副理事 山本 啓子

今年も暑いなか、8月4日に東海村文化センター大会議室で夏休み子ども作品教室が開かれました。小学1年生から6年生までの参加者がいました。午前の部40名、午後の部40名で計80名でした。

8時40分に文化協会長萩野谷様よりごあいさつをいただきました。続いて、指導者の理事長高橋さん、副理事長棚井さん、そして12名の東海美術連盟会員が協力しました。

真っ白な四つ切りの画用紙を前に、あれこれと構図を考え、夏休みの宿題に取り組みました。男の子は動物愛護啓発ポスターを描く子が多く、トンボ、カブトムシなどに人気がありました。女の子はかわいらしい猫、犬、そしてお花と自由に画用紙いっぱいに描きました。

だれもが大きな瞳を輝かせ、一生懸命作品に向

かっている姿に感動しました。私自身、子ども達が夢に向かって、自由な色彩でのびのびと描く様子を見て、多くのことを学ばせて頂くことができました。



塗り方や色の選びかたなど丁寧に指導しました。



公募展だより

アートポスター展大賞おめでとう！

(7月7日～7月9日 会津稽古堂)

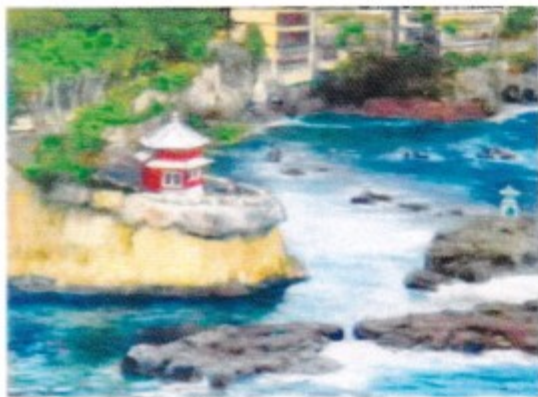
故郷を離れ、会津若松市内で避難生活を余儀なくされている方々、福島県復興の中心として活動を続けている、会津若松市民の方々への応援を目的とした展覧会で、佐久間致彦さんが大賞を受賞されました。佐久間さんによれば作品にこめた主題は次の通りです。



《佐久間さんからの応援メッセージ》

老木となつて尚、満開に花を咲かせる樹幹の生命力に感動し、描いたものです。  
福島県の復興を祈ります。

水戸市芸術祭入選おめでとう！ (6月9日～6月21日 水戸市美術館)



復活六角堂 佐藤 政一



鳥の詩 神永 マサ子



葉げいとう 柴 量子

Information

21世紀新美会メンバーズ展	9月4日～9月9日 (茨城県民文化センター)	【仲田他G】
第49回日立市美術展覧会	9月7日～9月15日 (シビックセンター・マープルホール)	
東海絵画同好会展	9月8日～9月14日 (東海ステーションギャラリーA)	【阿部他G】
第85回新構造展	9月19日～9月24日 (東京都美術館)	【高橋他G】
アートロード研修会	9月25日 (トーハクと水上バス)	
茨城県芸術祭美術展覧会	9月28日～10月14日 (近代美術館他)	
画塾プラネット展	10月6日～10月12日 (東海ステーションギャラリーA)	【門前他G】
23年会展	10月13日～10月19日 (東海ステーションギャラリーA)	【木村他G】
美術連盟日帰りスケッチ (つくば)	10月23日	【西支部幹事】
創造美術会茨城支部展	10月27日～11月2日 (東海ステーションギャラリーA)	【会員】
東海村文化祭 (展示部門)	11月2日～11月4日 (東海村総合体育館)	
新構造茨城作家展	11月12日～11月17日 (茨城県民文化センター)	【高橋他G】